

平成25年度 林業試験場研究課題一覧

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P	
1 地域の特性に応じた森林及びみどりの環境の充実	(ア) 森林の多面的機能の発揮のための研究開発	地球環境及び国土を保全する森林管理技術の研究と開発	リモートセンシングにおける3次元情報解析技術の開発	24-26	道南支場	58	
			水土保全機能に配慮したトドマツ人工林伐採手法の提示	25	機能G	31	
			風況にあわせた風害対策により収量・収益を最大化する人工林管理技術の開発	25-27	環境G、緑化樹センター所長	42	
			酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査(環境省委託課題)	25-27	経営G、機能G	6	
			湿地生態系における樹木を介した土壌メタンの放出機構の解明	23-25	機能G、経営G	33	
			防災林の流体力に対する機能向上に関する研究	24-26	環境G	43	
			カンラン岩流域と森林形態が物質フローおよび陸域・沿岸域生物資源に与える影響の解明	24-27	機能G	34	
			人工林の保残伐がもたらす生態系サービスを大規模実証実験で明らかにする	25-29	機能G、保護G	32	
			北海道中標津町を対象とした吹雪発生予測システム活用と効果的な雪氷防災対策への支援	25-27	環境G	44	
			道民の生活環境を守る森林管理技術の研究と開発	海岸防災林の津波減衰機能を発揮させる林帯整備・管理方法の開発	25-27	緑化樹センター所長、環境G	45
		保安林に対する強度間伐の実証的研究	25-27	環境G、緑化樹センター所長	46		
		海岸生クロマツにおける水ストレス評価方法の開発	23-25	環境G	47		
		防雪施設周辺における非平衡状態の吹きだまり形成過程の解明	25-27	環境G	48		
		防風林が設置された牧草地における微気象観測	25	環境G	49		
		森林とのふれあいや道民の森林づくり活動を支援する研究と技術開発	企業の森づくり活動体系化による支援手法の提案	25-26	緑化G、道東支場	50	
		余暇活動の「市民権の見解」に基づく知的障害者のための森林活動の方策検討	23-25	道東支場、緑化G	63		
		(イ) 森林の生物多様性保全と健全性維持のための研究開発	生物多様性を確保する森林管理技術の研究と開発	環境利用情報を活用した遺伝子マーカーによる個体識別を用いたヒグマ生息密度推定法の開発	23-25	機能G、道南支場	37
				森林管理と連携したエゾシカの個体数管理手法に関する研究	24-28	保護G	19
	溪畔域における溶存有機物(C,N)の動態モニタリング			22-25	機能G	35	
	トドマツ人工林における保残伐実施が生物多様性に与える効果と保残に伴うコストの評価			25	保護G、経営G	20	
	北海道東部・風蓮川流域における流域保全対策が草地・沿岸域双方の生産活動に与える影響—森里川海の物質の環・地域住民の環の再生を目指して—			25-27	機能G	39	
	人工林において生物多様性保全と木材生産は両立できるか?—保残伐実験による検証と普及方法の提案—			25-27	保護G、経営G、機能G	21	
	シカの採食が森林植生に及ぼす不可逆的変化のプロセスの解明			25-27	保護G	22	
	林業機械の走行が林床の植生発達と樹木の更新に与える影響の解明			25-27	企画G、経営G	5	
	森—湿原—漁業のつながり調査			25	機能G	40	
	森林施業と組み合わせたエゾシカの効率的捕獲方法の確立			25	保護G	23	
	森林・樹木の健全性を維持する研究と技術開発		プラタナス類の衰退を起こす病原菌の生態と形態	23-25	保護G	26	
			年輪解析によるウダイカンバ衰退パターンの抽出と衰退の発生に及ぼす食葉性昆虫の影響	23-25	経営G	7	
			遺伝子浸透を伴うマイマイガの種分化に関する研究	23-26	森林資源部長	24	
			生息環境の保全に向けた繁殖期のクマゲラ生息調査手法に関する研究	24-25	保護G	27	
			分子データに基づくハバチ類幼虫の同定	25-28	森林資源部長	25	
			造林木に対する殺そ剤リン化亜鉛の限界薬量薬害試験	25	保護G	28	
			モニタリングと天敵利用によるカラマツヤツバキクイムシ総合防除技術(IPM)開発のための基礎的研究	25	保護G	29	

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P		
	(ウ) 身近なみどりの環境の充実のための研究開発	北海道の風土に適した緑化樹等の新品种や生産技術の研究と開発	道産桜における芳香成分等の新たな利用方法の開発	23-26	緑化G、道東支場	52		
			芳香成分を有する樹木の機能性評価および効率的な苗木生産技術の開発	21-25	緑化G、道東支場	51		
			多目的樹木ヒッポファエのクローン苗木生産システムの構築	24-25	緑化G	53		
			シンチョウゲ属樹木の識別に関する基礎的研究	25	緑化G、企画課長、緑化樹センター所長	54		
		北国の環境に適した緑化技術や維持管理技術の研究と開発	都市空間における快適な生活のためのツル植物を活用した緑化の実用化	23-25	機能G、緑化G	41		
			共振測定装置による立木の内部欠陥診断技術の高度化と装置の利便性の向上	24-25	緑化G、緑化樹センター所長	55		
			遊休農地の樹林化並びに小果樹生産地としての利用を目指した技術の開発	25-27	道北支場、緑化G	56		
			石炭露天掘り跡地の初期成長促進を図る木本緑化技術の向上	25-29	緑化G、緑化樹センター所長、保護G	57		
		2 林業の健全な発展及び森林資源の循環利用の推進	(ア) 林業の持続的な発展のための研究開発	森林資源の充実を図る育林技術の研究と開発	地球温暖化と生産構造の変化に対応できる北海道農林業の構築	21-25	道南支場、経営G、副場長	59
					「新たな住まい」と森林資源循環による持続可能な地域の形成	22-26	企画調整部長、企画課長、経営G、道南支場、道北支場	4
					トドマツ人工林資源の持続的・安定的利用を目指した新たな施業指針の確立	23-25	経営G、保護G	8
					人工林における針葉樹天然更新技術の提案	22-25	道東支場、経営G	65
ヒバ植栽地の成績に及ぼす要因の解明と対策の検討	23-25				保護G、道南支場	30		
道南スギ人工林収穫予測ソフトの開発	24-25				道南支場、経営G	61		
林分状況に応じたカラマツ人工林単木管理手法の提案	25-26				経営G、道南支場	10		
北海道固有の森林再生を目指したエゾマツの早出し健全苗木生産システムの開発	22-25				副場長、経営G	3		
森林施業の低コスト化と森林資源の高度利用を図る技術の研究と開発	集材方法と地形条件を考慮した森林作業道適正配置パターンの提案			24-26	道北支場	67		
	収益性及び資源構成に基づく林業経営シミュレーションモデルの開発			25-27	経営G、道南支場	13		
	カラマツ類を用いた短伐期・低コスト林業システムの開発			21-25	経営G、道南支場、道東支場	11		
	ITにより低コストに人工林材から内装材を製造する生産・加工システムの開発			23-25	経営G、道南支場、保護G	14		
新たな品種開発に向けた林木育種技術の研究と高度化	カラマツ類の効率的な着花促進法の検討			22-26	経営G、副場長、道北支場	16		
	北海道に適したコンテナ苗木生産技術の開発			25-27	経営G	17		
	森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発			22-26	経営G、道北支場、副場長	18		